

活動助成（2010年度募集）活動実績報告書

団体名	社団法人 高槻市医師会
活動テーマ	第5回災害医療救護訓練



日本全国のどこの地域にあってもいろいろな地震、風水害、列車事故、飛行機事故、バス事故などの災害が発生しています。それを想定して、行政、病院等で訓練が行われています。ここ高槻市においても高槻市防災訓練が毎年8月頃に行われています。医師会もここに参加して、救護訓練を行っています。全体の訓練の一部で時間もあまりとれていず、実際の訓練とはほど遠いものとなっています。また各病院においても独自で訓練を行っていますが、消防や行政機関との連携がありません。そこで当医師会は、平成19年9月15日に約700人の参加をもって初めて医療関係者が主体となった大規模な訓練を行ってまいりました。それ以降は、毎年、救護所にて、トリアージを含む救護訓練を行っています。災害医療に取り組むには、医師の技術向上と関係機関の連携が重要と考えられる。また、訓練に参加する医師のみではなく、医師会全体として実施するものであり、組織の指示系統の確立がより強固なものになってきたと考えられます。

今回、平成23年9月10日に「第5回災害医療救護訓練」を高槻市内の小学校を会場に開催いたしました。AED講習会やキッチンカーによる炊き出し、起震車体験、救急車や防災関係機材の展示を行いました。東日本大震災の発生による防災意識の高まりもあり、多くの方が会場を訪れました。一般市民の参加により、市民への防災意識の向上、啓発にも繋がるものと考えられ、各種展示では、日頃の安全確立のために、どのようなものを準備しておれば大丈夫かを確認できるものと思われます。AEDの講習については、実際に駅などで何かが起きた場合のAEDの使用についての知識が習得でき、これからの救急現場において有効活用になるものと思われます。